海上保安庁
愛します！守ります！日本の海

かいほニュース　No.2

平成20年6月2日発行

3．国際緊急援助隊救助チームへの参加

長官への帰庁報告
救助活動中の隊員

５月１５日、中国四川省で発生した大規模な地震により被災した地域で救助活動を行うため、政府として国際緊急援助隊救助チーム（総勢６１名）を派遣することを決定し、海上保安庁から１３名が参加しました。海上保安庁では、パキスタン地震災害、インドネシア・スマトラ沖地震災害などに派遣された国際緊急援助隊救助チームにも参加しており、世界で活躍しています。

４．第４３回国際航路標識協会（ＩＡＬＡ）理事会

理事会の模様
記念品を交換するIALA会長と岩崎長官

５月１９日から２１日までの間、国際航路標識協会（ＩＡＬＡ）理事会が東京で開催され、２４カ国２５機関が参加し、航路標識等に関する技術の向上・発展を図り、船舶の安全で経済的かつ能率的な運航を目指して討議等を行いました。同協会は、１９５７年に発足した航路標識システムの設置または維持並びにその関連事業に関する機関等によって構成される非政府機関で、海上保安庁は、１９５９年にＩＡＬＡに加盟し、さらに、１９７５年から理事を務めています。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでご覧いただけます。
http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html

海上保安庁　〒100-8918　東京都 千代田区 霞が関 2-1-3
03-3591-6361（代表）
（編集・企画）海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は118番